

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.8

開催地：湯前町

平成19年6月4日（月）、湯前町において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」を実施しました。湯前町保健センターにて開催された同報告会には、約20名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。いただいたご意見等並びにご意見等への回答については下記のとおりです。なお、報告会の時に回答した内容が不十分であったところについては補足しています。

参加者数※

町内	14名
町外	4名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問	ご意見・ご質問への回答
<p>【河川整備基本方針の説明について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林の洪水緩和機能について限界があるとのことだが、山の質について説明がされていない。森林によって干ばつの時は水が流れてきて、大雨の時は守られるという地元の人達の考えは科学的には勘違いということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本高水のピーク流量等の治水計画は森林の存在を前提としていることから、治水上、河川管理者としても森林の保全は重要であると認識しています。 球磨川流域においては、経年的に森林の状態（樹種の割合等）の変化はあるものの、昭和20年代以降、降雨の流出形態に大きな変化は見られないことや、流域の約8割を森林が占めておりこれ以上森林面積が増大することは見込まれないことから、現在の流出形態を前提として基本高水のピーク流量を算出することが妥当であると考えています。 なお、今後、森林の保水力に関する新たな知見により、基本高水のピーク流量算出の前提条件が著しく異なった場合には、必要に応じこれを見直すこととしています。
<p>【球磨川の治水対策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湯前町では近年浸水被害が生じていないが、人吉やその下流では洪水により怖い思いをしている。早く洪水対策を行い、住民を安心させて欲しい。 ・林道が壊れてその土砂が県が管理する川に流れ込み氾濫するという話を聞いたことがある。縦割り行政でなく、早急に対策を行って欲しい。 ・球磨川に流れ込んでいる支流に土砂が多く流れ込み天井川になっており、将来的にはあふれ出すのではないかと心配している。土砂を取り除くなど対策を行って欲しい。 ・ダム下流の住民には安全になったと思い洪水時に避難しない人がいる。ダムができて想定外の洪水がくれば危ないということ伝えて、避難を勧めるのが行政の役目ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご心配をおかけしまして申し訳ございません。球磨川の治水対策ができるだけ速やかに実施できるよう、支川管理者である県等とも調整しつつ努力していきたいと考えています。 ・基本方針では、山腹崩壊に伴う河川内への土砂流出について、関係機関と一体となり、総合的な取り組みを推進することとしています。ご意見のとおり、縦割り行政ではなく熊本県等とも連携して取り組んでいきたいと考えています。 ・いただいたご意見は、支川を管理している熊本県にお伝えしました。 ・各地で集中豪雨が頻発し、計画規模を上回る洪水が発生しています。そのような洪水で氾濫した場合でも、被害を軽減させるため、堤防などのハード整備に加え、ハザードマップの作成や地域住民も参加した防災訓練による防災意識の向上等ソフト面での対応が求められています。ご指摘のとおり、今後、県や市町村とも連携して、住民の方々の意識を高めること等に努めて参りたいと考えています。

<ul style="list-style-type: none"> ダムではない治水をすすめていくべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなりますので、いただいたご意見は、検討の参考とさせていただきますと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> 東シナ海を低気圧がゆっくり通過した場合、一時間で50mm、一晩で600～700mmもの雨が降ると考えなければならない。そのような場合にどのくらいの流量になるのかというの考えなければならぬ。 	<ul style="list-style-type: none"> 洪水対策にあたっては、堤防の整備などのハード対策に加え、想定外の洪水が発生しても、被害を最小限に防ぐことができるよう、市町村とも連携をして、ハザードマップの整備など避難警戒体制の一層の充実に努めてまいりたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> 瀬戸石ダムができて水位に落差が生じているが、落差を解消すれば流速が早くなり、断面積が同じでも今よりも多くの水量を流すことができるようになる。昔はダムが無かったから流れが速かった。流速が早くなる方法を検討して欲しい。瀬戸石ダムも改良すれば速く流れるようになると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘の面もあろうかと思いますが、瀬戸石ダムは現在も落差を利用して発電を行っており、落差の解消は難しいと考えられます。従って、河川管理者としては現在の瀬戸石ダムを前提に治水計画を考えていくこととなります。
<ul style="list-style-type: none"> 国土交通省の降雨量の予測だが、観測地点が五木や泉など非常に少ない。気象庁とよく連携すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 国土交通省では、気象庁の降雨予測を踏まえて球磨川の洪水予測を行っているところです。ご意見を踏まえ、今後も気象庁と連携して、予測精度の向上に努めていきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> 想定外の被害が無い前提でダムの安全性を評価しているわけで、必ず想定外の雨は降る。川辺川ダムに頼るのではなく、低気圧を人為的に動かしたり、台風を消滅させるなど気象条件を完全にコントロールできてから初めて、生命と財産を守ることができると言って欲しい。そうでない限りは、安心感を与えるような説明をしないで欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年の川内川をはじめ、各地で集中豪雨が頻発し、ご指摘のような計画規模を上回る洪水が発生しています。洪水対策にあたっては、堤防などのハード整備に加え、想定外の洪水が発生しても、被害を最小限に防ぐことができるよう、市町村とも連携をして、ハザードマップの整備など避難警戒体制の一層の充実に努めてまいりたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> 人吉で大きな被害を受けた時の洪水でダムの放流に疑問を持っているという話を聞いた。人吉の人が市房ダムの操作に不安と不満を持っていることについてどう考えているのか。 	<p>【熊本県回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昭和40年7月出水における市房ダムの最高水位は、満杯までには達しておらず余裕がありました。また、洪水調節時は流入量の一部をダムに貯めて流入量より少ない量を放流しており、放流量は、流入量を上回ることはありません。
<p>【球磨川の環境について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昔はこの時期になると、子供たちが鯀突などをやっていた。川の水もきれいで市房ダムを作る前は川の水を飲んだり、川に入っても風呂に入らないでよいくらいきれいだった。今は川に入ると皮膚病なども心配である。球磨川の水はきれいとの説明があったが体感とは異なる。水質の確保を県と併せて行って欲しい。 市房ダム下流には大きな石しかない。砂利や砂が無いと川が浄化されない。湯山の橋の下に砂利がある。浄化対策を進めるため、市房ダム下流に砂利を持って行くことを検討して欲しい。 川に横断的に石をおいて川をせき止めて魚のすみかを造ってもらっているのはありがたい。 ダムに土砂がたまり下流に流れないことで宮崎や高知で海岸が 	<ul style="list-style-type: none"> 球磨川では水質調査を始めたのが昭和40年代中頃からであり、現在と昭和40年代以前の水質をデータにより比較することはできませんが、多くの住民の方々から、昭和40年代以前は、球磨川下流でも川の水がそのまま飲めるほど、水がきれいだったとお聴きしています。今後とも、地元市町村など関係機関や住民の方々とも連携して、水質の保全・改善に努めていきたいと考えています。 いただいたご意見も参考に、球磨川の水質の改善・保全に向けて、市房ダムを管理する熊本県をはじめとする関係機関と連携して取り組んでいきたいと考えています。 ご意見のとおり、魚類等の生息環境に配慮した川づくりを今後とも推進していきたいと考えています。 海岸線の後退の問題に対して、河川の源流部の山地、河川、そ

後退している。ダムを造って、海岸線は埋め立てした以上に減っている分が多い。

して海と流域で一貫した土砂の管理が必要であると考えています。そのためには、国土交通省だけでなく、熊本県など関係機関と協力して取り組んでいく必要があると考えています。

ダムへの堆積土砂に関するご懸念については、今後、河川整備計画を策定する際の参考にさせていただきたいと考えています。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ 誹謗中傷するような発言については掲載しておりません。